

指定校番号	29008	学級活動	○	児童会		クラブ活動		学校行事		小学校用
-------	-------	------	---	-----	--	-------	--	------	--	------

## 平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立平良小学校	校長	林 真由美	生徒指導主事	小寺和徳
-----	------------	----	-------	--------	------

<b>取組事例名</b>	『話し合い活動の充実』
<b>取組のねらい</b> 『キーワード 自分の考えを表現できる児童の育成』	
<ul style="list-style-type: none"> <li>各学級の学級活動の時間を充実させることを通して、「自分の思いが言える」「自分のことが受けてとめてもらえる」「自分がみんなの役に立っていることを実感できる」学級の基盤を作る。</li> <li>話し合いの進め方を身につけさせ、自分の考えをもって話し合いに参加し表現する児童を育成する。</li> </ul>	
<b>身に付させたい資質・能力</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの進め方</li> <li>話し合いによってよりよい解決方法を考える力</li> <li>自分のよさを見つれたり、相手の気持ちを考え活動したりする力</li> </ul>	
<b>取組の具体的内容</b> 『キーワード 話し合い活動の充実』	
<p>○全児童が司会グループを経験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>司会の進行マニュアルをもとに、司会グループが進行する。</li> <li>事前打ち合わせを実施し、児童全員が司会グループを経験し、話し合いの進め方を身に付ける。</li> </ul> <p>○話し合いの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童一人一人が自分の意見を持って参加し、根拠を示しながら自分の意見を出し合う。</li> </ul> <p>① 意見を出し合う。(自分の考えを発表する。)</p> <p>例：「自己紹介クイズがいいです。」「趣味のアンケート新聞を掲示するのはどうですか。」</p> <p>② 意見を比べ合う。(賛成意見や心配なことを発表する。)</p> <p>例：「クイズは楽しく仲良くなれると思います。」→「いつするのですか?」→「帰りの会はどうですか」→「時間がかかりそうで心配です。」</p> <p>「掲示は見ない人がいるかもしれません」→「見えやすい場所に掲示したらいいと思います。」</p> <p>③ 考えをまとめる。(折り合いをつけて決定する。)</p> <p>例：「自己紹介クイズは1日一人にしたら良いと思います。」→「それなら両方できそうです。」</p> <p>→「趣味アンケートは新聞係に掲示を工夫してもらいましょう。」</p>	
<b>取組の課題・創意工夫</b> 『キーワード 主体的な話し合い活動にするための準備』	
<p>○話し合い活動の事前準備の重要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>司会グループと指導者が事前に打ち合わせを行い、どのように進めていくかを確認しておく。</li> </ul> <p>○話し合い内容の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時で話し合う内容は何か、どう話し合うと互いの考えを深めることができるのか、意見交流を充実させるための手立てを用意する。</li> </ul>	

## 取組の成果（効果）『キーワード 話し合い活動から実践、振り返りへ』

○司会進行マニュアルに沿って話し合い活動を進めてきたことにより、話し合いを進めたりまとめたりすることにどの学年も慣れてきた。

○話し合い活動の充実を図ることで自分の意見をもって主体的に話し合い活動に参加しようとする児童が増えた。また、話し合うことだけでなく、問題を解決することに対しても、意欲的になった。

○児童アンケートの結果

「自分の考えをもって話し合いに参加している」と肯定的に回答した児童：89%

「自分の意見を進んで発表している」「友達の意見の良いところを考えながら聞いている」「友達の考えを聞き自分の考えをよりよいものにしている」と回答した児童：68%

「話し合い活動を行うことにより自分の考えが深まった」と回答した児童：88%

○教職員アンケートの結果

「話し合い活動を通して児童は考えを深めている」と感じている教職員：83%



役割分担した司会グループの進行の様子

全員が司会グループを担当するので、議長が困ったらグループで相談して話し合いを進める。指導者も司会グループのサポートをする。

## 今後の展開『キーワード 主体的な活動』

○児童自らが課題であると考えた議題について話し合うことはできつつあるが、指導者が話し合わせたいと考える内容との差がある。自分達の生活をよりよくしていこうとする意欲をもち、話し合うべき議題を設定し、主体的な活動となるよう指導を重ねていきたい。

○各学級での話し合い活動により実施する学級活動や学年活動を委員会活動や児童会活動につなげ、一人一人の児童が主体的にそれぞれの活動に向かうよう取り組んでいきたい。

## 他校へのアドバイス『キーワード 認める』

・児童一人一人が自分の考えをもって話し合い活動に臨めば、伝えたいという思いが高まると感じている。発信した児童に対する承認をすることで、さらにその意欲は高まり、自信にもつながる。